

アカネ科

オオキヌタソウ

Rubia chinensis Regel et Maack f. *mitis* (Miq.) Kitag.

兵庫県ランク… A
環境省ランク… —

■ 県内分布

西播磨、但馬、丹波

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

現存が確認できるのは但馬および西播磨の渓谷に限られている。2020年版でBランクからAランクに変更した。



写真提供: 松岡成久

■ 保護上の留意点

渓谷沿いの樹林の保全が重要である。

■ 種の概要

山地の林中に生える多年草。匍匐する細い根茎がある。茎は直立し、高さ30-60cmになり、無毛である。葉は4枚輪生し、薄く、卵形または広披針形で、長さ6-10cm、幅2-5cm、先は鋭くとがり、基部は円形ときに浅い心形で、無毛またはごくまばらに短毛があり、長さ0.5-2cmの柄がある。5-7月、茎の先または葉腋に集散花序をつくり、まばらに多数の花をつける。小花柄は細く無毛で、長さ1-5mm。萼は無毛、花冠は緑白色で、裂片は卵形、径3-4mm。